



東小だより

やさしく かしこく たくましい 東っ子

第20号

桐生市立東小学校

令和5年1月10日

(文責 鈴木 智行)

3学期始業式 ～ 1日1日を大切に ～



昨年中は本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今日から3学期がスタートします。2学期と比べると授業日数は30日ほど短く、わずか52日（6年生は51日）となっています。新しい年のスタートではありますが、3学期は学年まとめの時期でもあります。1・2学期の成長を生かし、各教科等の学習や行事などを通して更に飛躍できるよう、教職員で力を合わせて児童を支援していきたいと考えています。

さて、本日の始業式では、児童に365枚の紙の束を見せながら話をしました。

- 「1年365日と同じ枚数の紙の一枚一枚に、その日のよかったこと、がんばったこと、できるようになったこと、授業中『はっ』と気づいたこと、また、友達の親切やさしさに心を動かされたこと、などを書き留めていくようなつもりで、毎日を大事にしていねいに生活してほしいと思っています。」
- 「時にはがんばれない日や何をやってもうまくいかない日があるとは思いますが、そんな日は、がんばれなかった原因を見つけてみたり、明日はどうすればうまくいか、その方法を考えたりして、その日の紙を埋めていくことが大切です。」

1年は長いのか短いのか、よく分からなくなることがあります。しかし、誰にとっても365日、与えられており、子どもにとってはその一日一日が、大人の何倍もの密度があるものと思っています。（当然ながら子どもはこのことに自覚がありません。大人になってから知ることとなります。）

始業式では、白紙の日をつくらず、日々を積み重ねていくことの大切さを理解してほしいと思い、このような話をしました。



3学期は…

3学期は「まとめの学期」と言われますが、それとは別に「0学期」と言われることがあります。つまり、**令和5年度の「0学期」**です。例えば、4年生であれば「5年のゼロ学期」、6年生であれば「中学校1年のゼロ学期」といった具合に、3学期は進級・進学に向けての準備期間としても大事な時期として考えられています。

学校では、児童がこれまでの自分の成長を糧として、自信をもって次のステージに向かって行けるよう、支援していきたいと考えています。折を見て、ご家庭においても、お子さんのこれまでの成長と、次のステージに向けての目標について話し合っただければと思います。